

○当科を受診される患者さまへ

当科では、成人の広汎性発達障害に関する研究を行っております。広汎性発達障害を併存している患者さんは精神疾患が治療により改善したとしても、その特性を把握・理解していないといくら社会復帰をしても心理・社会的な要因によりすぐに精神症状を再燃することが多く認めます。そのため、研究目的は、うつ状態で受診してきた患者さんの中から早期に広汎性発達障害患者を見出す臨床指標がないかを検討することです。研究結果により、早期に広汎性発達障害患者さんを見出すことができれば、病気の再発防止や社会復帰につながるものと考えております。診療行為を行う上での必要な患者情報から臨床指標を見出すため、患者さん自身の負担はありません。さらに、得られた情報において、名前などの個人を特定できる情報は扱いませんし、情報が外部に漏れないように厳重に管理を行います。本研究は、琉球大学臨床研究倫理審査委員会から承認を得ております。この研究に賛同しない場合はいつでも診療者に申し出て下さい。その際は申し出た患者さんの情報をこの研究で扱いません。又、研究に賛同しなくても、治療に必要な診療はきちんと行いますので、安心して申し出て下さい。